



## 県老施協設立30周年大会に1,000名が参加

6月3日(木)、熊本県立劇場で熊本県老人福祉施設協議会設立30周年記念大会が開催され、約1,000名の参加がありました。

本協議会は、その前身である「県社協養老部会」(昭和28年10月設立)から、昭和54年5月に「老人施設協議会」の名称となって以来、昨年30周年を迎えたことを記念し開催されたものです。

本来であれば昨年10月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となっていました。

式典では、主催者である県老施協 鴻江圭子会長の挨拶の後、熊本県知事並びに熊本市長、全国老施協中田清会長より来賓祝辞が述べられました。

その後、これまで老人福祉の先駆者として本協議会の運営に御尽力いただいた歴代会長の、(福)水光会水民婦而子理事長、(福)上天草会 原田英機理事長、祥麟館小林佳之施設長へ感謝状と記念品の授与がありました。

次に、記念講演として「笑福亭仁鶴独演会」が行われました。上方落語の重鎮と言われている仁鶴師匠。味わい深い語り口で、情緒たっぷりにじっくり聴かせる話芸で、笑い感動の渦に会場の参加者は引き込まれていました。

※当日は、会場入り口に宮崎県口蹄疫被害義援金の募金箱を設置し、多額の義援金が集まりました。この義援金につきましては、宮崎県老施協を通じ、宮崎県共同募金会に送金しました。



【式典の様子：中央は県老施協 鴻江圭子会長】

## 市町村民児協会長研修会を開催

市町村民生委員児童委員協議会会長研修会が、菊池市の菊池観光ホテルで、6月17日(木)・18日(金)の両日、熊本県民生委員児童委員協議会と県社協の共催により、154名が参加して開催されました。

1日目は、全国民生委員児童委員連合会の川尻禮郎副会長から「民生委員児童委員のなり手不足解消への取り組みについて」と題して、民生委員の充足率等に関する現状や課題の整理が行われた上で、各地域の効果的な事例を交えた講演があり、地域の実情に合わせた解決への取り組みの必要性について論じられました。その後、同内容について3つの分散会に分かれて、活発な意見交換が行われました。

2日目は、熊本学園大学社会福祉学部の和田要教授をコーディネーターに迎え、前日に講演していただいた川尻全民児連副会長と熊本県民生委員児童委員協議会の坂口健一会長を助言者として、各分散会の報告と全体協議が行われました。

報告では、「なり手不足は主に都市部における問題ではないか」という意見が出されましたが、和田教授から「数年後には高齢化、過疎化により、都市部以外の地域もなり手不足に陥る可能性がある」との指摘もあり、都市部だけの問題ではなく、それぞれの地域で問題意識を持つことの重要性についてアドバイスされました。

その上で、職務内容の整理と明確化、制度の効果的なPRなどが必要であるとの意見が出され、なり手不足解消に向けた有意義な研修となりました。



【全体協議の様子】

## 市町村社協トップセミナー開催される



【大牟田市の認知症対策について講演する池田氏】

6月21日（月）、KKRホテル熊本で「市町村社協トップセミナー」が県市町村社協連合会主催により開催されました。会長や理事など125名が参加した今年のセミナーでは、大牟田市保健福祉部長寿社会推進課課長の池田武俊氏から、行政の立場から地域福祉活動、特に大牟田市において先進的に取り組まれている認知症ケアについて、実際の事例等を交えながらご講演をいただきました。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを、行政、社協、医療機関、福祉事業者、そして住民が一体となって進める必要性を感じました。

## ボランティアフェスティバル第1回実行委員会開催される

6月15日（火）、「第5回火の国ボランティアフェスティバル阿蘇」の第1回実行委員会が阿蘇市農村環境改善センターで開催されました。

実行委員会では、開催要綱並びに運営委員会設置要綱及び事業内容等が承認され、会長に佐藤義興阿蘇市長が、副会長に小嶋維男阿蘇市ボラ連会長と奴留湯哲宣小国町ボラ連会長が、監事に山部謙一郎阿蘇市民児協会会長と井昭光産山村民児協会会長がそれぞれ選任されました。

今回のフェスティバルは、10月23日（土）から24日（日）まで、阿蘇市立体育館をメイン会場として、講演会・分科会に加え、阿蘇ブロック市町村社協職員等による福祉劇等も併せて実施される予定です。確定した事項については、本会ボランティアセンターのホームページで随時ご紹介してまいりますので、是非ご覧ください。



【第1回実行委員会の様子】

## 第3次県社協総合計画「21世紀ビジョン」を刊行しました



第三次の県社協総合計画「21世紀ビジョン」が、3月17日（水）の本会理事会・評議員会で承認されたことは、本誌第120号でお伝えしたところですが、この度、この計画を冊子としてまとめ、会員をはじめとする関係者の方々に配布しました。

計画には、県社協として取り組むべき活動の強化と経営基盤の強化に関する今後5か年間の指針が詳細に示されています。

また、基本目標や推進項目、展開方針などをチャート図等に図式化することや数値目標を設定することやユニバーサル・デザイン化することに心がけ、刊行にあたっては、視覚的にも理解しやすいように工夫しています。

是非ご一読いただき、計画の推進にご支援をお願いします。

## 市町村社協新任職員研修会を開催 - 地域福祉と社協職員の役割 -

6月18日（金）、菊陽町老人福祉センターで市町村社協新任職員研修会を開催し、14市町村社協と県社協から合計22名の参加がありました。

午前中は、菊陽町社協の甲田局長から、町全域を人口や世帯数の動向をもとにI～VI類型に分けてある各地域の状況について説明を受けながら、バスハイクによる現地見学を行い、住民の生活課題等について認識を深めました。その後、玉城総務係長から菊陽町社協について説明がありました。

午後は、県社協加藤事務局次長から「社会福祉協議会」について、法令等を中心に、社協の発足・法的根拠・組織・経営指針等について説明を行いました。また、最後の演習では、バスハイクで現地を見学したことにも視点をおき、社協職員として地域の課題をどのように捉え係っていくかについて、菊陽町社協白男川専門員の指導によりグループごとに協議し、発表をしました。


参加者にとって、菊陽町社協のきめ細かな地域福祉の取り組みを学び、お互いの交流の機会も得て、意義ある研修となりました。



【研修会の様子】

# 各課トピックス

\* お問合せは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆県社協総合情報誌「ゆ〜とぴー」 特集記事の年間計画決まる◆</p> <p>本年度も地域福祉やボランティア活動など、最新の情報を提供して参りますので、どうぞご愛読ください。 なお、各号の特集記事の予定は次のとおりです。 第28号「介護保険法施行から10年」 (7月末発行予定) 第29号「地域福祉権利擁護事業の展開」 (11月末発行予定) 第30号「障がい者の地域生活支援」(2月末発行予定)</p>	<p>◆地域福祉推進サポーター派遣事業のご案内◆</p> <p>地域福祉の推進を支援するため、本年度も「地域福祉推進サポーター派遣事業」を実施します。 この事業は、市町村社協等が行う小地域ネットワーク活動や地域福祉活動計画等の策定に関する情報、技法等について、先進的な市町村社協の職員及び地域おこし等の専門家を派遣し、助言を行うものです。 詳細は、県民福祉課までお問い合わせください。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆労務研修の開催について◆</p> <p>社会福祉法人を対象に次のとおり労務研修会を開催いたします。ご案内の文書は近々送付予定です。多数のご参加をお待ちしています。</p> <p>○労務研修会 8月30日(月)13:30~16:00 テーマ:「人材育成と賃金のあり方 一定着率を高めるために」 講師 特定社会保険労務士 上田 吉勝氏 参加費 1人 3,000円 ※場所はKKRホテル2階「五峯・城彩」です。</p>	<p>◆新しい生活福祉資金のパンフレットを配布しています◆</p> <p>昨年10月の生活福祉資金貸付制度改正に伴い、資金種類の統合再編や貸付要件等の変更が行われました。 これを受け、本会では「生活福祉資金」4種類と「臨時特例つなぎ資金」の計5種類のパンフレットを作成しました。既に関係機関・団体には配布していますが、ご要望があれば追加で配布もいたしますので、民生課までご連絡ください。</p> 
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆複数事業所連携事業のユニット募集について◆</p> <p>福祉・介護人材の確保を図るため、5つ以上の事業所がネットワーク(ユニット)を形成し、共同して求人活動や合同研修によるキャリア開発等を実施する「複数事業所連携事業」のユニットを募集します。 なお、効果的な事業実施のためのアドバイスなどを行うコーディネーターを配置していますので、お気軽にご相談ください。 詳細は県社協ホームページでもご覧になれます。</p>	<p>◆契約締結審査会のご案内◆</p> <p>保健・医療・福祉・法律等の専門家6名から構成される契約締結審査会を毎月第3火曜日に開催しています。 利用希望者及び利用者の判断能力の疑義や契約内容による援助を続けることが難しくなった場合、あるいは利用者の意思確認できないため、支援計画に基づく適切な支援ができない場合等の審査等を行います。 市町村社協が支援する利用者の中に、審査が必要な場合には、本会までご連絡ください。</p>
ボランティアセンター	福祉サービス評価センター
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456
<p>◆全国ボランティアフェスティバル ひろしまのお知らせ◆</p> <p>「つながる民力 いかしあう民力」を大会テーマに、第19回となる本年度は広島国際会場をメイン会場として、次のとおり開催されます。大会ホームページで開催案内パンフレットを確認のうえ、お申込みください。 期 日 9月25日(土)・26日(日) 内 容 テーマトーク、分科会(22テーマ)、レポート他 会 場 広島国際会場、広島平和記念公園他 申込締切 8月10日(火) 参加登録費 3,000円 大会URL <a href="http://www.hiroshima-fukushi.net/v2010/">http://www.hiroshima-fukushi.net/v2010/</a></p>	<p>◆介護サービス情報の公表事業所調査が始まります◆</p> <p>本会では、平成21年度から「熊本県介護サービス情報公表センター」として、介護サービスの情報を同センターのホームページ上で公表しています。 本年度は8月から対象事業所の調査が開始されることから、調査項目の入力をホームページ上で7月20日(火)までに済ませるよう各事業所をお願いしております。 調査・公表の計画は、熊本県のホームページ「くまもと介護保険行政情報サイト」に掲載されております。ご参照ください。</p>